



# 温室効果ガス削減に 取り組もう

## 「環境モデル都市おびひろ」

帯広市は平成20年7月、国から「環境モデル都市」に選定されました。第2期行動計画（平成26～30年度）に基づき、市民、事業者、行政などが連携し、低炭素社会の実現を目指した取り組みを進めています。

問い合わせ 環境都市推進課（市庁舎8階、☎65・4135）

### 低炭素社会の実現に向けて

「環境モデル都市」は、世界の先例となる低炭素社会の実現に向けて、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの大幅な削減に取り組む都市のことです。

高い削減目標を掲げ、先駆的な取り組みを実践することで、環境分野におけるモデル都市として、取り組みを進めています。

### 温室効果ガスを 50パーセント削減

市は、温室効果ガスを平成62年

図1 帯広市の温室効果ガスの年間排出量

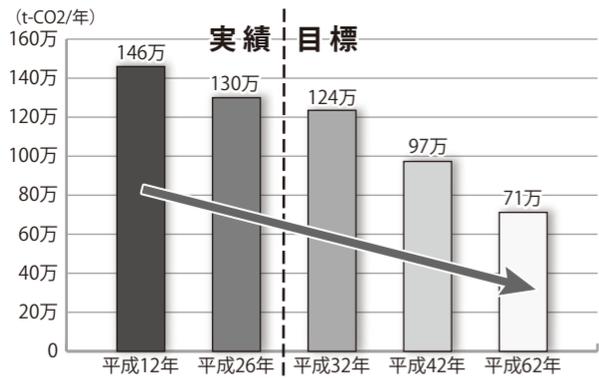


図2 部門別二酸化炭素排出量(平成26年実績)

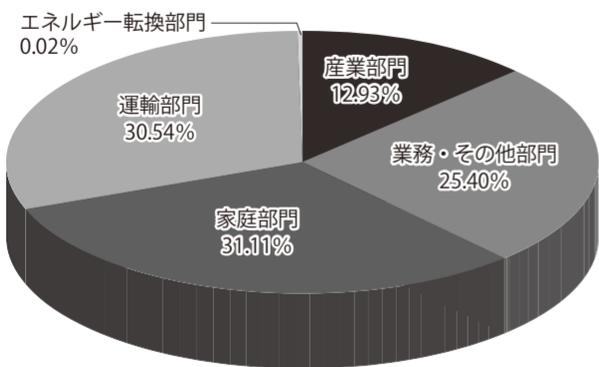


図3 5つの視点

### 「5つの視点」で取り組む

行動計画では、目標達成のために実施する具体的な取り組みを「5つの視点」(図3)に分類し、市民、事業者、行政などが協力して目標達成に取り組んでいます。

例えば「住・緑・まちづくり」の視点では、省エネ建築を促進するため、旧第六中学校のグラウンド跡地を宅地造成した「スマート

タウン六中プロジェクト」を実施しています。太陽光発電システムの設置や省エネ基準を満たすなど、環境に配慮した住宅のみが建てられるので、家庭部門の二酸化炭素排出量の削減効果があります。

### できることから始めよう

温暖化が進むと、異常気象の多発や海面の上昇が起こると予測されています。

将来の世代に大きな影響を与えないためにも、市では「5つの視点」に従って、温室効果ガス削減に努めています。しかし、この取り組みをより促進するには市民の皆さんの協力が不可欠です。家庭や職場でできる温暖化対策はたくさんあります。

まずは、できることから始めてみませんか。

## 生活の中で簡単にできる温暖化対策

### 職場でできる取り組み

- クールビズ・ウォームビズ  
・冷房時の室温設定は28℃、暖房時は20℃  
・夏は軽装、冬は重ね着して仕事をする  
・グリーンカーテンの利用
- 公共交通機関や自転車を利用するノーカーデーの実施
- エレベーターの利用を控える
- お昼休みの消灯
- 再生紙や裏紙の利用

### 家庭でできる取り組み

- 省エネ家電への買い替え  
・LED電球  
・冷蔵庫  
・エアコン
- マイバッグの持参
- 詰め替え用品を選ぶ
- 使わないときは暖房便座のふたを閉める
- 堆肥化による生ごみの活用

### 家庭・職場でできる取り組み

- エコドライブ  
・ふんわりアクセル  
・ゆるやかブレーキ  
・アイドリングストップ
- 省エネ行動  
・使用していない機器のコンセントを抜く  
・自転車の活用

### QRコードで簡単アクセス



環境モデル都市フェイスブック



環境モデル都市おびひろのページ

環境モデル都市おびひろ

環境モデル都市おびひろの情報を発信しています。帯広市の取り組み状況や環境に関わる情報などを市ホームページ「環境モデル都市おびひろ」のページで紹介しています。「環境モデル都市おびひろフェイスブック」でも最新情報などを発信しているので、ぜひご覧ください。

## 適正なタイヤ空気圧で燃費向上



タイヤ空気圧無料点検の様子

5月13日に、JAF帯広支部の協力のもと、ぴあざフクハラ西帯広店で、自動車のタイヤ空気圧無料点検を実施しました。点検した24台のうち、適切な空気圧よりも低い車が半分以上の14台もありました。

低空気圧状態での走行は、無駄な燃料の消費や、二酸化炭素排出量の増加を招いてしまいます。空気圧の点検は、誰でも簡単にできる環境に優しい行動の一つであり、燃料代の節約にもつながります。